

まちの話題 topics

7月のできごと



瀬利覚字が、以前から獅子舞を通じた交流を行っている沖縄県うるま市天願自治会の皆さんが来町し、地域資源文化事業シンポジウム「獅子を語る」が、7月20日、瀬利覚字公民館でありました。シンポジウムでは、島袋俊夫うるま市長による基調講演のあと、天願自治会の代表者が、地域経営や天願獅子につ

獅子を「熱く」語る



いて講演を行いました。その後、意見交換会があり、地域づくりや獅子について熱い議論が交わされ、両団体の交流がさらに深まりました。また、この日は「ジッキョヌホーまつり」もあり、エンディングで天願獅子舞が披露されると、会場は大いに盛り上がっていました。



知名字青年団（東山栄仁団長）が、7月14日、神山（はみやま）神社での盆踊りを前に、境内の草取りや窓ふきなどの清掃作業を行いました。東山団長は「いつもお世話になっている神社に恩返しができる。今後も知名字の貢献できるようにがんばっていきたい」と話しました。

若い「力」で地域貢献！



「第63回社会を明るくする運動」の広報キャンペーンが、7月5日、Aコープ知名店前でありました。キャンペーンでは、保護司や関係者と一緒に、「一日保護司」として委嘱された町内の小中学生7名が、安心安全な地域社会づくりを訴えました。

安全安心な地域社会実現のために



奄美群島日本復帰60周年を記念し、東京・町田の小田急百貨店で「奄美の観光と物産展」が、7月17日にありました。この日は沖永良部島の日で、本町から前田綾子さん、博美さんがミニライブで島唄を披露しました。会場には、島の出身者など多くの方が来場していました。

奄美の観光と物産展



毎年恒例の「知名町建設有志会ボランティア作業」が、7月5日にありました。炎天下での作業にも関わらず、約100名の有志会の皆さんが参加され、重機などを使用し、町道・農道脇の伐採が行われました。伐採後は、道路の見通しが良くなり、視界がスッキリしました。

炎天下でのボランティア作業